

# 目 次

はじめに——〔植上一希〕 i

序 章 差別・抑圧を学ぶということ——〔植上一希〕 i

- 1 差別・抑圧のイメージを変える ..... 1
- 2 差別・抑圧を対象とした研究 ..... 5
- 3 差別・抑圧について学ぶ意味 ..... 7

## 第 1 部 青 年

第 1 章 「大人になる」ことをめぐる差別・抑圧——〔植上一希〕 12

- 1 「大人になる」ことって？ ..... 12
- 2 「大人になる」ことの困難化を把握しよう ..... 14
- 3 「大人になる」ことをめぐる差別・抑圧を知ろう ..... 16
- 4 「大人になる」ことをめぐる差別・抑圧に対峙するために ..... 19

第 2 章 学びからの排除——〔添田祥史〕 22

- 1 現代日本における学びからの排除問題 ..... 22
- 2 学びからの排除を生み出す要因 ..... 25
- 3 学びから排除されて社会を生きる ..... 28
- 4 学びなおしを保障する社会へ ..... 30

第 3 章 若者世界のなかでの抑圧——〔山川荘一郎〕 33

- 1 文化世界と現実の関係 ..... 34
- 2 平和な日常だけを描く「日常系」 ..... 37
- 3 現実世界から離脱していく「転生系」 ..... 38

4	おわりに	40
❖	コラム① 新聞奨学生が抱える問題	〔横山真〕 43
❖	コラム② 同和問題と若者	〔笠原嘉治〕 45
<b>第2部 貧困・高齢者・病</b>		
第4章	貧困による差別・抑圧	〔白谷美紗樹〕 48
1	日本の人々がもつ貧困イメージを象徴する事例	48
2	貧困とはどういう概念か	49
3	偏った貧困イメージがもたらす差別・抑圧	52
4	日本全体に広がる貧困	54
5	「自分の問題」としての貧困——「苦しい」を共有し合える社会へ	58
第5章	高齢者への差別・抑圧	〔ゴツィック, マーレン〕 59
1	高齢者の実態と高齢者差別	59
2	高齢者像・ステレオタイプ・高齢者差別 (エイジズム)	61
3	女性高齢者の住まい	66
4	高齢者像のステレオタイプを無くすためには	69
第6章	病による排除	〔本多康生〕 71
1	ハンセン病と隔離政策	71
2	フィールドワークの実践——ゼミ合宿でハンセン病療養所を訪問して	73
3	ハンセン病問題と向き合う——自らへの問いとして受け止める	81
❖	コラム③ 子どもの貧困問題	〔渡邊晶帆〕 85

## 第3部 性

## 第7章 つくられる性——〔藤田由美子〕 88

- 1 ジェンダーということば ..... 88
- 2 女の子と男の子はつくられる ..... 90
- 3 私たちの性——「セックス」が先か, 「ジェンダー」が先か ..... 93
- 4 多様な性——性は「女」と「男」だけではない ..... 97

## 第8章 ジェンダーと教育——〔藤田由美子〕 102

- 1 学校から排除される女の子たち ..... 102
- 2 「教育の機会均等」は実現したのか——大学進学を例に考える ..... 103
- 3 なぜ「異なる進路」を選ぶのか——教材と「隠れたカリキュラム」 ..... 106
- 4 学校教育の結果として——「リケジョ」と「〇〇男子」 ..... 112
- 5 まとめにかえて ..... 113

## 第9章 性の多様性——〔星乃治彦〕 115

- 1 「性」は多様であること, 自分の「性」を肯定すること ..... 115
- 2 各国首脳もフツーに同性愛 ..... 116
- 3 LGBT ..... 117
- 4 「同性愛者」の歴史をひもとく ..... 119
- 5 課題 ..... 124

## ❖ コラム④ 女性と貧困——〔白谷美紗樹〕 127

## 第4部 多文化共生

## 第10章 外国人の排除——〔桧垣伸次〕 130

- 1 法学的な観点から学ぶ意味 ..... 130

2	何が問題となっているのか	131
3	憲法は外国人の権利を守っているのか	132
4	具体的な問題	135
5	その他の問題	140
<b>第11章</b>	<b>ヘイト・スピーチによる差別・抑圧</b> —————〔桧垣伸次〕	142
1	何が問題か	142
2	なぜ「表現の自由」が重要なのか	143
3	ヨーロッパとアメリカ	145
4	日本におけるヘイト・スピーチ	148
5	今後の課題	152
<b>第12章</b>	<b>外国につながる子どもたち</b> —————〔伊藤亜希子〕	154
1	多様な背景をもつ人々が暮らす日本社会	154
2	外国につながる子どもたち	156
3	外国につながる子どもたちが抱える課題	158
4	日本人とは「異なる」ことによる息苦しさに向き合う	161
<b>第13章</b>	<b>異文化の理解</b> —————〔伊藤亜希子〕	165
1	外国につながる人々の思いにふれる	165
2	私たちの基準をつくるものとしての文化	169
3	異文化間リテラシーとは	171
4	かれらの思いに向き合うことから考える異文化理解	173
<b>終章</b>	<b>差別・抑圧を乗り越えるために</b> —————〔伊藤亜希子〕	177
1	差別・抑圧に向き合う	177
2	差別・抑圧を乗り越えるために	180
3	「フツ」が生み出す「生きやすさ」と「生きにくさ」のなかで	184

おわりに——〔伊藤亜希子〕 187

執筆者紹介／編者紹介